

2015年10月15日

各 位

日本軽金属株式会社
日軽金アクト株式会社

緊急時に使用する仮設橋の車道用アルミニウム床版を納入

日軽金アクト株式会社（社長：安達章、本社：東京都品川区）は、緊急時に使用する仮設橋の車道用アルミニウム床版をこの度納入しました。

本案件は国土交通省近畿地方整備局が南海トラフ地震による橋の流出に備えて、60m級の橋を3日以内に架設する方法を開発、その中で軽量で施工性に優れるアルミニウム床版が採用されました。本用途の車道用の床版には従来主に鋼製の製品が使用されています。しかし、アルミニウム床版は鋼製床版パネル（覆工板）の約1/2の重量を実現し、アルミニウム合金製大型形材を最新のFSW（摩擦攪拌接合）技術によってユニット化することで、軽量かつ高強度の床版を開発しました。床版ユニットは幅2.18m、支間長4.48mで覆工板と比べ長スパンを実現しました。耐食性に優れているのでメンテナンスも最小限に抑えられます。日本軽金属グループでは2011年に日本で初めてアルミニウム製道路橋床版を自社工場内に施工し、今回初めて国土交通省の案件に採用いただきました。

また、今回アルミニウム床版の設計・製作に際しては、学識経験者からなる『緊急仮設橋に関する検討委員会』の委員の皆様の協力を賜り実現に至りました。

施主： 国土交通省 近畿地方整備局
施工： 株式会社駒井ハルテック
橋長： 61m
総幅員： 4.5m
床版： アルミニウム床版

今後、日本軽金属グループではアルミニウム製道路橋床版の普及を目指し、老朽化した既設コンクリート床版の架け替え、軽量化ニーズが必要な橋梁、緊急仮設橋、海浜地区等での採用に向けて広く提案してまいります。

以 上

リリースに関するお問い合わせ：日本軽金属株式会社 広報室 TEL 03-5461-9333

写真1 完成した緊急仮設橋



写真2 アルミニウム床版載荷試験



写真3 床版設置作業

